

ぜひお役立てください！

自治体の
外国人支援
どうする？

災害時、
外国人は
どんな支援が
必要？

いざというとき
のためにどう
準備しておく？

災害時の外国人支援研修

～佐賀県の事例に学ぶ 災害時の外国人支援体制づくり～

地域に住む外国人やインバウンド観光客が増えている中で、大きな災害の際には、外国人に関するサポートや必要な通訳・翻訳、外国語での情報発信が求められます。

その拠点として、災害時にすぐに体制を整え支援を進められるよう取り組む佐賀県災害時多言語センターの事例から、外国人の安心・安全に向けてどうあるべきか考えていきます。

講師

公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長
一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム 理事
自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー

やどみ あきのり
矢富 明德 さん

2011年に公益財団法人佐賀県国際交流協会採用。入職から現在まで企画交流課長として多文化共生業務全般に従事。2016年に熊本地震の外国人支援活動、2019年と2021年には、佐賀豪雨災害の災害多言語支援センターの活動に従事。

その他、(総務省)災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修や全国市町村国際文化研修所(JIAM)、自治体・国際交流協会等における災害時の外国人支援研修にて講師を務める。



2024年

日時

11月5日(火) 13:00～14:30

方法

オンライン (Zoom)

参加費 無料

対象

岩手県内及び東北・北海道※の自治体、国際交流協会、防災業務に関わる皆さま など。

※地域国際化協会 東北・北海道ブロック
(北海道、青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島、新潟)

締切

10月30日(水) 17:00



【主催/問い合わせ先】

(公財) 岩手県国際交流協会

TEL: 019-654-8900

E-mail: bousai@iwate-ia.or.jp

申込はこちらから



<https://forms.gle/8o3UeZQDC1AM7mfZ6>